様式第６号（第１８号関係）

宮 崎 市 地 域 コミュニティ活 動 交 付 金 実 績 報 告 書

令和7年5月2日

宮崎市長　　清山　知憲　殿

主たる事務所の所在地	宮崎市生目台東４丁目６番地２
名　　称	生目台地域まちづくり推進委員会
代 表 者 の 氏 名	会長　富川　篤志
電　話　番　号	0985(71)0229

令和６年３月 27 日付けで交付承認通知のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第 18 条第１項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

（1）　事業実施報告・収支決算書

（2）　事業別収支計算書

（3）　積立金管理状況報告書

（4）　活動交付金繰越届出書

（5）　備品管理台帳

（6）　地域協議会意見書

（様式第５号）

令和６年度　事業実施報告・収支決算書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

１　総括

いずれの事業においても、地域で協力して楽しい雰囲気のなか無事に実施ができた。予算面でも各事業で工夫しながら効率的に執行できたことも良かった。新規利用者が増えたいきいきサロン事業や、生目台中学校ボランティアサークルの生徒が活躍した子ども歳時記事業及び子どもまつり事業等で住民参加の広がりが感じられた一方、もっと活性化していきたいと感じる事業もあったので次年度以降の課題としたい。

生目台地区交流センターの指定管理者制度導入に向けた視察研修では様々なヒントを得られた。今後も地域の特徴を生かしたまちづくりを考えながら「住む人みんなにやさしい生目台」を目指したい。

２　収支決算

（1）収入の部　　（単位：円）

項　目	予　算	決　算	差	備　考
基礎交付金	2,121,000	2,121,000	0	
繰越金	373,129	373,129	0	
雑収入	105,000	151,439	46,439	利息、エアコン使用料、自販機電気使用料、カフェさくらんぼ参加料
	0	50,000	50,000	宮崎市子どもの未来応援活動支援事業補助金
積立基金取崩金	367,250	367,250	0	リーダー研修費
	360,000	0	▲360,000	パソコン購入費
合　計	3,326,379	3,062,818	▲263,561	

（2）収入の部

分野	事　業　名	実施年数	予　算	決　算	差	備　考
防	地域の安心安全の点検及び改善、子どもの見守り	15年目	75,000	44,113	▲30,887	
環	里山整備	16年目	20,000	14,886	▲5,114	
福	ふれあいルーム運営	16年目	1,330,000	1,348,829	18,829	
福	高齢者生活教室	16年目	10,000	9,000	▲1,000	
福	いきいきサロン	15年目	300,000	261,793	▲38,207	
福	サポートセンター	3年目	45,000	44,601	▲399	
健	スポレク生目台	15年目	55,000	39,865	▲15,135	
教	子どもまつり	16年目	100,000	99,483	▲517	
教	寺子屋	15年目	210,000	114,006	▲95,994	
教	子ども歳時記	14年目	75,000	32,633	▲42,367	
他	事務局運営	6年目	379,129	262,878	▲116,251	
他	事業運営積立基金活用	1年目	367,250	229,102	▲138,148	リーダー研修
		2年目	360,000	0	▲360,000	パソコン３台
繰　越　金			0	561,629	561,629	積立基金取崩金138,148円を含む
合　計			3,326,379	3,062,818	▲263,561	

3　実施報告

［1］防犯・防災に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>地域の安心安全の点検及び改善、子どもの見守り</td><td>実施年数</td><td>15 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：　平成 22 年度</td><td colspan="2">終了：　なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
「安心・安全なまちづくり」
◎地域の見守り活動やパトロールなどを行い、安心安全なまちづくりを推進</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">地域で連携、情報を共有して住民の防犯、防災、交通安全への意識向上を図る。また、安全マップ作りを通じて小学生と大人が交流し、地域が協力して安全なまちづくりをするという意識を醸成する。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">〇生目台地域内の危険箇所点検の実施
・日程　部会員…9 月～11 月頃
西小……12 月 10 日（火）
東小……実施なし
・場所　生目台地域内
・内容　地域内を区分けし、部会員や小学生、地域のボランティアらで「災害時の危険箇所」を調査した。

〇安全マップの作成、配布
・時期　6 月
・内容　前年度に実施した危険箇所点検の結果を元に「生目台地域安全マップ」を作成した。これを印刷して地域の各小学校 PTA へ A3 サイズを配布し、小中学校や公民館等に A1 サイズを掲示した。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">44,113 円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域の小学校 PTA、地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和 6 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>273 人</td><td>355 人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>38 人</td><td>75 人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>311 人</td><td>430 人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">特になし。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	特記事項なし
	②住民の参加	A	A	特記事項なし
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	特記事項なし
	④各種団体との連携	A	A	地域の幅広い意見を反映させるため、自治会、PTA、交通安全協会、消防団等と連携し、各団体の代表者が部会に参加した。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	完成した安全マップは小学校 PTA に配布、公民館等に掲示した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	特記事項なし
	⑦住民の満足度	A	A	特記事項なし
事業継続の必要性				㊒ ・ 無

良かった点・改善点等	・安全点検は、例年は主に防犯や交通安全の視点で調査してきたが、自然災害が増えている昨今の状況を踏まえて、今回は災害時の危険箇所を調査した。
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞

対応	未 ・ 済

［２］環境に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>里山整備</td><td>実施年数</td><td>16 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：　平成 21 年度</td><td colspan="2">終了：　なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
「安心・安全なまちづくり」
　◎子どもから高齢者まで楽しめる里山づくりを推進</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">住民が年間を通じて花や木々等の自然にふれ、季節感を楽しめるよう里山を整備・維持する。親しみやすい里山づくりによって、住民が生目台に愛着を抱くことも期待される。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">〇里山整備の実施
・場所　　近隣公園里山周辺
・日程/内容　季節に応じた整備活動を行った。

令和 6 年 6 月 16 日（日）
里山北側登り口とあじさいロード周辺の草刈り

令和 6 年 10 月 27 日（日）
里山内遊歩道の安全点検と草刈り、落ち葉の片づけ
※11/9 の青少年育成部会「里山探検」に備えて実施した

令和 7 年 1 月 26 日（日）
アスレチック公園側登り口の階段設置</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">14,886　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民、他</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和 6 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>15 人</td><td>18 人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>15 人</td><td>18 人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>30 人</td><td>36 人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・普段の散歩で里山をよく歩くので、整備されていてありがたい。
・整備活動に参加して、こんなにいい場所があることを初めて知った。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	特記事項なし
	②住民の参加	A	A	特記事項なし
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	特記事項なし
	④各種団体との連携	A	A	青少年育成部会と連携し、子ども歳時記「里山探検」の前に点検と整備を実施した。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	広報紙に開催予告と実施後報告を掲載するなど、活動を周知した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	安全に楽しめる里山の維持を、住民主体で取り組めていると思う。
	⑦住民の満足度	A	A	特記事項なし
事業継続の必要性				㊒ ・ 無

良かった点・改善点等	・猛暑や雨などの影響を受けて、当初の予定通りには進められないことはあったが、状況に対応しながら安全に進めることが出来た。 ・老朽化や台風による倒木等で過去に通行止めになっていた箇所が、数回にわたる里山整備により復旧してきてよかった。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

［３］福祉に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>ふれあいルーム運営</td><td>実施年数</td><td>16 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：　平成 21 年度</td><td colspan="2">終了：　なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
「地域コミュニティの充実したまちづくり」「福祉の充実したまちづくり」
◎ふれあいルームの管理運営を通じ、多世代交流と住みよい地域づくりを推進</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">子どもから高齢者まで、誰でもいつでも利用できる場を提供し、地域交流と活性化を図る。また、いきいきサロン事業の活動拠点としても活用する。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">〇ふれあいルーム管理、運営
・日程　通年（大型連休、日曜祝日、年末年始を除く）
・場所　ふれあいルーム（カリヨンプラザ内）
・内容　地区の商店街の一室を借りて、住民が自由に多目的で利用できるスペースとして無料で開放した。
放課後の子どもたちや地域団体の会議、趣味サークルの集まり、買い物帰りの休憩など、多くの住民の利用があった。
また、いきいきサロン事業や子ども歳時記事業の開催場所、部会や役員会等の会議でも活用した。
日々の鍵当番（鍵開閉と清掃）を住民の方々にご協力いただき、
また、老朽化した箇所を地域の有志の方々と修繕した。（11 月 17 日）</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">1,348,829　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民、他</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和 6 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>4,937 人</td><td>5,250 人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>566 人</td><td>564 人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>5,503 人</td><td>5,814 人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・便利な位置にあるので地域の人との集まりやすく、重宝している。
・高齢な自分にとって、買い物の帰りにひと休みできてありがたい。
・子どもが友達と遊んだりイベントに参加したりするときに利用している。地域の目が届く場所なので安心感がある。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	特記事項なし
	②住民の参加	A	A	鍵当番や老朽箇所の修繕等、さまざまな面で住民の参加協力があった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	特記事項なし
	④各種団体との連携	A	A	商店街や一部の利用団体にも鍵当番を手伝っていただいた。 子どもの利用マナーについては学校と連携した。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	特記事項なし
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	様々な形で住民の利用があり、地域交流の場となっている。
	⑦住民の満足度	A	A	特記事項なし
事業継続の必要性				㊒ ・ 無

良かった点・改善点等	・個人利用だけでなく、地域イベントや PTA をはじめ各種団体の集まりにもよく活用された。地域コミュニティの拠点となっていると感じる。 ・新たに鍵当番を申し出てくださる方がいたり、ルーム前に鉢植えを飾ってくれる方がいたりと、地域の協力を得ながら円滑に運営することができたと思う。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>高齢者生活教室</td><td>実施年数</td><td>16 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：　平成 21 年度</td><td colspan="2">終了：　なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
「福祉の充実したまちづくり」
　◎高齢者の健康づくりと交流を推進</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">高齢者の生活に関わる教室や研修を開催し、学びと交流の場を提供。健康で自立した生活の維持を目指す。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">〇高齢者施設の見学
・日程　令和 6 年 6 月 24 日（月）、25 日（火）
※2 班が 2 日に分かれて訪問
・場所　特養「かなえ」
グループホーム「一喜一喜」「楽楽」「とみよし」
小規模多機能型居宅介護「ニチイケアセンター」
・内容　市内の高齢者施設を訪問し、説明を受けた後に施設を見学した。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">9,000　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">福祉部会員、地域の 75 歳以上の高齢者</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和 6 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>8 人</td><td>43 人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>10 人</td><td>9 人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>18 人</td><td>52 人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・入居費が想像よりも高額だった。
・費用や設備、サービス等について様々な気付きがあり、大変勉強になった。
・部会員以外にも希望を募って、また見学を実施できたらいいと思う。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	昨年「実際に施設を見学したい」という声を受け実施した。
	②住民の参加	A	A	部会員のほか、高齢者クラブや民生委員からも参加した。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	特記事項なし
	④各種団体との連携	A	A	地区社協や民生委員、包括支援センター等と連携した。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	特記事項なし
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	特記事項なし
	⑦住民の満足度	A	A	特記事項なし
事業継続の必要性				㊒ ・ 無

良かった点・改善点等	・参加受け入れ人数は限られたが、部会員のほか、地域の高齢者クラブ等にも希望を募って参加していただいた。一緒に学びながら交流も出来てよかった。
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞

対応	未 ・ 済

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>いきいきサロン</td><td>実施年数</td><td>15 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：　平成 22 年度</td><td colspan="2">終了：　なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
「福祉の充実したまちづくり」「地域コミュニティの充実したまちづくり」
◎高齢者や子どもたちに居場所を提供するとともに、地域交流を推進</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">各種カフェを開催して住民が飲食を楽しみながら交流し、また地域で見守る場となる効果がある。また利用者との会話のなかから、地域ニーズなどの情報を収集することも期待される。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">〇カフェの開催
「カフェさくら」
・日程　毎週金曜と土曜の午前中
（大型連休、学校の夏季・冬季休業中は実施なし）
・場所　ふれあいルーム、NPO 法人ささえ愛生目台の調理室
・内容　コーヒーや定食を提供して、家にこもりがちな高齢者の外出を促し、食事や会話を楽しんでいただいた。
NPO 法人ささえ愛生目台、地区社協との共催

「カフェさくら交流センター」
・日程　週 1 回程度、平日のお昼
・場所　生目台地区交流センター　談話コーナー
・内容　センター利用者へコーヒーを提供して、地域人材を発掘するとともに交流を図った。
NPO 法人ささえ愛生目台との共催

「カフェさくらんぼ」
・日程　毎月 3 回程度、土曜のお昼（大型連休、祝祭日は実施なし）
・場所　ふれあいルーム、NPO 法人ささえ愛生目台の調理室
・内容　子どもたちにカレーを提供し、学校が休みの日にも健康的に食事を楽しめる居場所を作るとともに、地域で見守る機会とした。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">261,793　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域の子どもたち、地域住民、他</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和 6 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>2,995 人</td><td>2,834 人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>464 人</td><td>468 人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>3,459 人</td><td>3,302 人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・仲間と公園で運動したあとに食事ができ、いつも楽しみにしている。
・ここで友達と食べるカレーはとても美味しい。
・地域の方がスタッフなので安心感があり、子ども同士でも利用させられることがありがたいと思う。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	利用者との会話が、地域ニーズを知る機会となった。
	②住民の参加	A	A	住民の方々に調理や配膳のスタッフとしてご協力いただいた。 また、お米や野菜等の食材提供もいただいた。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	特記事項なし
	④各種団体との連携	A	A	NPO 法人ささえ愛生目台、社協、宮崎市子ども食堂ネットワーク等と連携した。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	地区内へは広報紙で、小学校へはチラシを配布して定期的に広報した。 また、カフェさくら開催時はのぼり旗や看板を設置して宣伝した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	高齢者や子供たちの見守りができ、また情報交換や交流の機会になった。
	⑦住民の満足度	A	A	毎回楽しみに来てくれる方や新規利用者も増え、喜ばれている。
事業継続の必要性				㊥ ・ 無

良かった点・改善点等	・利用者が少しずつ増え、地域の方々から「カフェを応援したい」と食材提供をいただくこともあり、カフェが定着してきたように感じる。 ・ひとりで、または友達同士や家族全員での参加など、さまざまな形で利用されている。今後も気軽に利用できる雰囲気作りを心掛けたい。 ・子ども食堂ネットワークや政府備蓄米、地域の方々等から食材を提供していただき大変ありがたかった。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>サポートセンター</td><td>実施年数</td><td>3 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：　令和 4 年度</td><td colspan="2">終了：　なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
「地域コミュニティの充実したまちづくり」「福祉の充実したまちづくり」
◎安心して暮らせる地域づくりの推進</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">住民の困りごとを地域で助け合い、安心して暮らせる生目台を目指す</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">〇サポートセンターの運営
・期間　通年（年末年始は除く）
・場所　生目台地域内
・内容　高齢者をはじめ生目台で生活支援を必要とする人と、それをお手伝いする地域人材をマッチングする「サポートセンター」の運営について、事務処理と、活動に要する消耗品等の購入を一部負担した。
また部会員らがサポーターとして参加した。
サポート例：ゴミ出し、庭木の剪定、買い物等
NPO 法人ささえ愛生目台との共催</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">44,601　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和 6 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>1,253 人</td><td>1,523 人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>1,402 人</td><td>1,705 人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>2,655 人</td><td>3,228 人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・いつも親身に対応してくれるのがとてもありがたい。
・サポーターの方とお話しするのも楽しく、よく利用している。
・地域の方が対応してくれるのでとても安心だと感じる。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	利用者との会話からニーズの把握に努めた。
	②住民の参加	B	A	住民がサポーターとして参加しているが、利用者数に対してサポーターが不足している。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	特記事項なし
	④各種団体との連携	A	A	NPO 法人ささえ愛生目台と連携した。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	B	A	サポーターとしての住民参加が増えるよう広報に努めたい。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	特記事項なし
	⑦住民の満足度	A	A	前年度に続いて利用者は多く、リピーターも多い。
事業継続の必要性				㊒ ・ 無

良かった点・改善点等	・事務作業を整理分担して円滑に運営できたと思う。		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

［4］健康づくりに係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>スポレク生目台</td><td>実施年数</td><td>15 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：　平成 22 年度</td><td colspan="2">終了：　なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
「地域コミュニティの充実したまちづくり」「福祉の充実したまちづくり」
◎広い遊歩道や公園等の恵まれた環境を活かした健康づくりを推進</td></tr>
<tr><td>目　　的
(期待される効果)</td><td colspan="3">イベント開催等を通じて、住民の健康維持・増進と多世代交流を図る</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">○スポレク（レクリエーション大会）の開催
・日程　令和 6 年 5 月 26 日（日）
・場所　生目台地区交流センター多目的ホール
・内容　多世代が楽しく体を動かしながら交流するスポーツイベントで
みやざき犬パフォーマンス、ニュースポーツ 4 種目、体力測定 4 項目、
保健師による血管年齢測定を実施した。

○ラジオ体操の開催
・日程　子どもの夏季休業中の毎週土曜（令和 6 年 7 月 27 日～ 8 月 24 日）
・場所　近隣公園
・内容　子どもから大人まで自由に参加できるラジオ体操を計 5 回実施した。

○ノルディックポールの貸し出し
・日程　通年
・場所　まちづくり推進委員会事務局
・内容　年齢問わず効果的な全身運動ができるノルディックウォーキングの専
用ポールを無料で貸し出した。返却期限 2 週間。

○ノルディックウォーキング講習会の開催
・日程　令和 7 年 3 月 8 日（土）
・場所　さくら公園
・内容　初心者向けに講習を実施し、ポールを使った準備運動と歩行を体験し
てもらった。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">39,865　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域住民、他</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和 6 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>245 人</td><td>192 人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>39 人</td><td>44 人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>284 人</td><td>236 人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・ラジオ体操は子どもの早起きの習慣づけにも良いので継続してほしい。
・スポレクの保健師さんによる血管年齢測定がよかった。健康に気を付けようと思った。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	特記事項なし
	②住民の参加	A	A	子どもから高齢者まで幅広い年代の参加があった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	特記事項なし
	④各種団体との連携	A	A	各自治公民館や体育会、交流センター、生目台郵便局等と連携した。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	B	広報紙のほか、各小学校やさんさんクラブへチラシを配布した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	B	A	ノルディックウォーキング用のポールの利用、講習会の参加者が少ない。
	⑦住民の満足度	A	A	特記事項なし
事業継続の必要性				㊒ ・ 無

良かった点・改善点等	・昨年同様、スポレクは各自が自由に参加体験する形式とした。幼い子供も高齢者も気軽に参加でき無理なく楽しめたようだ。 ・ラジオ体操では体育会を通じていただいた体操グッズ（メモ帳やシール）を配布して喜ばれた。 ・ノルディックウォーキングを体験した人からは好評だが、まだまだ認知度が低いのが課題。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和７年３月・実施報告）＞ ノルディックウォーキング講習会の開催時期及び開催回数について検討いただき、参加者の増加を図り生目台地区の健康増進に一層励んで頂きたい。 ＜意見への対応＞ 時期及び回数については気候や他イベントとの重なりを考慮しながら検討し、講習会以外の地域イベントでデモンストレーションをする等、宣伝方法を工夫して参加者増加を図りたい。	対応	㊒ ・ 済

［５］教育に係る事業

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>子どもまつり</td><td>実施年数</td><td>16 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：　平成 21 年度</td><td colspan="2">終了：　なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
「地域コミュニティの充実したまちづくり」
◎子どもの体験活動を通じて地域団体が交流し、子どもの健全育成と地域コミュニティの充実したまちづくりを推進</td></tr>
<tr><td>目　　的
(期待される効果)</td><td colspan="3">普段できないような多様な体験活動の場を作り、友達と楽しいふるさとの思い出を作る機会とする。
また、開催にあたって地域の複数の団体が連携し、地域の交流を深める。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">〇生目台子どもまつりの開催
◆夏季
・日程　令和 6 年 8 月 24（土）～25 日（日）
・会場　生目台西小学校
・内容　地域の小学生を対象として、2 日間に渡り様々な体験活動を実施した。
鮎のつかみ取り、お化け屋敷、ダンボールハウス作り、カレータ食会、レクリエーション、灯篭飾り、ダンボールキャンプ、ラジオ体操
お化け屋敷は生目台中のボランティアサークルの生徒たちが担当し、企画、準備、運営まで行った。
灯篭飾りは住民が和紙に描いた作品を貼って作成し、212 基を飾った。

◆冬季
・日程　令和 7 年 1 月 19 日（日）
・会場　生目台地区緑地公園
・内容　宮崎大学気球部 OB の協力のもと、熱気球搭乗体験を実施した。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">99,483　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">生目台東小学校・生目台西小学校の児童、生目台中 DVC、地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和 6 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>188 人</td><td>213 人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>84 人</td><td>75 人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>272 人</td><td>288 人</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・いろいろな体験がたくさんできて楽しかった。
・お化け屋敷の運営では大変なこともあったけど、協力して無事に終えることができた。良い経験になった。
・自分の作品が灯篭になっているのを見に行きました。とても綺麗で、また来年も来たいと思いました。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	特記事項なし
	②住民の参加	A	A	生目台東・西小の児童や保護者、生目台中の生徒のほか、各種団体からもたくさんの参加があった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	特記事項なし
	④各種団体との連携	A	A	小中学校、青少協、公民館連合会、自治会、おやじ会、民生・児童委員、体育会、社協、消防団等と連携した。 熱気球体験は宮崎大学気球部 OB に依頼した。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	地区の広報紙や、小学校へのチラシで周知した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	特記事項なし
	⑦住民の満足度	A	A	喜びの声が多く聞かれた。
事業継続の必要性				㊒ ・ 無

良かった点・改善点等	・生目台中学校ボランティアサークルの生徒たちが企画運営をしてお化け屋敷を実施した。協力して頑張る姿が見られ、参加した小学生も楽しかったようだ。 ・地域教育体験学習として交流センターに来ていた宮崎大学教育学部生にもお手伝いに参加してもらった。お互いに良い交流と学びの機会になったように思う。 ・地域の各種団体と交流を深めながら無事に実施でき、とてもよかった。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・済

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>寺子屋</td><td>実施年数</td><td>15 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：　平成 22 年度</td><td colspan="2">終了：　なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
「福祉の充実したまちづくり」「地域コミュニティの充実したまちづくり」
◎学校と地域が連携して学習指導等の支援を行い、子どもたちをサポート</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">子どもたちの居場所をつくり、学習指導等の支援を通じて生きる力を育む。
学校と地域の連携や、生徒と講師の先生方との交流を通じて、コミュニティの充実も期待される。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">〇寺子屋の実施
・日程　令和 6 年 8 月 2 日（金）～ 令和 7 年 2 月 28 日（金）
毎週火・水・金曜日、17 時～19 時
計 79 回実施
・場所　生目台地区交流センター学習室
・内容　生目台中学校の希望者 16 名が対象
地域の教職経験者や宮崎大学の院生らが講師となり、高校入試に向けた学習と面接指導等を行った。
開講前には宮崎大学大学院の先生方のご協力のもと、事前に講師ボランティア説明会を開催した。（令和 6 年 6 月 12 日）</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">114,006　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">生目台中学校 3 年生</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和 6 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者（受講生）</td><td>1,010 人</td><td>737 人</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>537 人</td><td>551 人</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>1,547 人</td><td>1,2 88人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・寺子屋で勉強するのが楽しみでした。
・面接指導のお陰で自信がついて、ハキハキと話せるようになりました。
・本当に来て良かったと思う。とても素敵な場所でした。
・開講中は忙しかったが、振り返るとあっという間だった。子どもたちの成長にやりがいを感じて続けることができた。
・「どう伝えたら生徒に理解してもらえるかな」と考ながら教えて、自分にとっても勉強になりました。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	特記事項なし
	②住民の参加	A	A	地域の教職経験者が講師を務めた。住民の方から定期的に差し入れもいただいた。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	特記事項なし
	④各種団体との連携	A	A	中学校や地区交流センターと連携し、宮崎大学大学院等にご協力いただいた。 また地域内の法人㈱結絆からもご支援いただいた。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	特記事項なし
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	学習支援だけでなく、地域の方との交流もあって子どもたちの居場所となった。
	⑦住民の満足度	A	A	生徒とその保護者に喜ばれた。
事業継続の必要性				㊒ ・ 無

良かった点・改善点等	・受講生から「苦手教科がわかるようになってきて嬉しかった」という声が多数聞かれた。 ・中学校とも連携して生徒の個性や進捗状況に応じて学習内容を選び、効果的に進められた。 ・宮崎大学のご協力をいただき、院生の学生さんも主体的に協力してくれてとてもありがたかった。

地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・ 済

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>子ども歳時記</td><td>実施年数</td><td>14 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：　平成 23 年度</td><td colspan="2">終了：　なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
「地域コミュニティの充実したまちづくり」
◎イベントを通じて子どもの健全育成と地域コミュニティの充実を推進</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">一年を通して子どもたちに四季折々の節句・年中行事等を体験させ、伝統文化を継承する。また、地域の人材が教え手として活躍し、活動を通じて多世代が交流を深める。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">〇季節のイベントの開催
地域の子どもたちを対象として季節に応じた体験活動を実施した。

① 七夕かざり
・日程　令和 6 年 6 月 8 日（土）　・会場　ふれあいルーム
・内容　子どもたちが願いを書いた短冊を笹竹に結び付け、各小学校と交流センター、カリヨンプラザに飾った。

② 里山探検
・日程　令和 6 年 11 月 9 日（土）　・会場　近隣公園内の里山
・内容　近隣公園内の里山内を、木や草花を観察しながら散策した。

③ 餅つき
・日程　令和 6 年 12 月 7 日（土）　・会場　ふれあいルーム
・内容　臼と杵を使った昔ながらの餅つきを体験した。

④ しめ縄、門松作り
・日程　令和 6 年 12 月 21 日（土）　・会場　ふれあいルーム
・内容　しめ縄と門松の意味を教わりながら作った。完成したしめ縄は自宅に持ち帰らせて、門松は地域内の小中学校に飾った。

⑤ 凧作り、凧上げ
・日程　令和 7 年 2 月 15 日（土）
・会場　生目台地区交流センター多目的ホール
・内容　竹ひごと和紙を使った昔ながらの土佐凧を作った。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">32,633　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">地域の子どもたち、地域住民</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和 6 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>132 人</td><td>133 人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>94 人</td><td>120 人</td></tr><tr><td>合　計</td><td>226 人</td><td>253 人</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・色々な体験が出来て楽しい。いつも楽しみにしている。
・七夕や門松が飾られているのを見て季節を感じる。
・風が全くなくて、たこあげができなかったのは残念だった。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	特記事項なし
	②住民の参加	A	A	子どもといっしょに保護者も楽しむ姿が見られた。地域住民が特技を生かして指導者として参加した。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	特記事項なし
	④各種団体との連携	A	A	青少協やおやじ会、小学校、中学校、交流センター、カリヨンプラザ商店街等と連携した。

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	A	A	地区内への広報紙の他、小学校へのチラシで周知した。
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	子どもたちが興味を持って取り組み、世代を超えて楽しむ姿が見られた。
	⑦住民の満足度	A	A	特記事項なし
事業継続の必要性				㊒ ・ 無

良かった点・改善点等	・里山探検では、樹木に木の名前を書いたプレートを取り付けながら歩いたところ、子どもたちが興味を持ったようでいろいろな質問があった。 ・中学生のボランティアが手伝ってくれてとても助かり、盛り上がった。特に力仕事のもちつきでは大活躍だった。 ・事前準備が必要なものが多々あるが、部会員やその他のボランティアの方々のお陰でしっかりと準備がされて、実施がスムーズだった。
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞ 対応　未 ・ 済

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>事務局運営</td><td>実施年数</td><td>6 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：　令和元年度</td><td colspan="2">終了：　なし</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
「安心・安全なまちづくり」
「地域コミュニティの充実したまちづくり
「福祉の充実したまちづくり」
◎「住む人みんなにやさしい生目台」の実現に向けたまちづくりを推進</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">まちづくり推進委員会全体の円滑な運営を図る。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">・場所　生目台地域まちづくり推進委員会事務局
・期間　通年
・内容　会議の開催、部会間の調整、各種案内、申請書のとりまとめ、会計、広報紙発行（毎月）等の事務局業務を行い、またそれに伴って必要となる物品の購入（コピー用紙、インク等の事務用品、会議用のお茶等）や電話・プロバイダー料及び事務局職員の時間外手当を支払った。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">262,878　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">事務局、部会員</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和 6 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>－</td><td>－</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">該当なし</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	—	—	特記事項なし
	②住民の参加	—	—	特記事項なし
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	特記事項なし
	④各種団体との連携	—	—	特記事項なし
広報	⑤事業の周知	—	—	特記事項なし
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	特記事項なし
	⑦住民の満足度	—	—	特記事項なし
事業継続の必要性				㊒ ・ 無

良かった点・改善点等	・コスト削減に努め、効率的に運営できた。		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・済

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>事業運営積立基金活用
（リーダー研修）</td><td>実施年数</td><td>1 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：　令和 6 年度</td><td colspan="2">終了：　令和 6 年度</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
「安心・安全なまちづくり」
「地域コミュニティの充実したまちづくり」
「福祉の充実したまちづくり」
◎「住む人みんなにやさしい生目台」の実現に向けたまちづくりを推進</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">まちづくり事業に関わる人材のスキルアップやリーダーの育成を図る。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">〇リーダー研修
・日程　令和 7 年 1 月 31 日（金）～ 2 月 1 日（土）
・行先　香川県高松市　　「松島コミュニティセンター」
〃　東かがわ市「白鳥コミュニティ協議会」「小海活性協議会」
・内容　生目台地区交流センターの指定管理制度導入に向けて、既に制度を導入し運用している 3 地域を訪問してお話を伺った。
視察研修後、地域コミュニティ課との意見交換会で報告を行った。
（令和 7 年 3 月 13 日）</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">229,102　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">部会員、事務局</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table><tr><td>年　度</td><td>令和 6 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>6</td><td>－</td></tr><tr><td>合　計</td><td>6</td><td>－</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">・既に制度を運用している地域の方から直接お話を伺うことができ、大変勉強になった。</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	—	—	特記事項なし
	②住民の参加	—	—	特記事項なし
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	—	特記事項なし
	④各種団体との連携	—	—	特記事項なし
広報	⑤事業の周知	—	—	特記事項なし
事業の効果	⑥課題解決への作用	A	—	特記事項なし
	⑦住民の満足度	—	—	特記事項なし
事業継続の必要性				有 ・ 無

良かった点・改善点等	・平成 26 年度から目指していた指定管理制度の導入に向けて、具体的に取り組むべき課題が見えた。		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・済
	＜地域協議会からの意見（　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・済

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td>事業運営積立基金活用
（パソコン購入）</td><td>実施年数</td><td>2 年目</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td>開始：　令和 5 年度</td><td colspan="2">終了：　令和 7 年度</td></tr>
<tr><td>地域魅力発信
プランとの関連</td><td colspan="3">基本目標
「安心・安全なまちづくり」
「地域コミュニティの充実したまちづくり」
「福祉の充実したまちづくり」
◎「住む人みんなにやさしい生目台」の実現に向けたまちづくりを推進</td></tr>
<tr><td>目　　的
（期待される効果）</td><td colspan="3">事務局の事務作業に必要なパソコンを購入し、まちづくり推進委員会全体の円滑な運営を図る。</td></tr>
<tr><td>事業内容・手段</td><td colspan="3">〇パソコンの買い替え
・内容　パソコンの老朽化に備えて、積立基金を活用した買い替えを予定していたが、令和 6 年度中はまだ使える状態だったため、実施しなかった。予算は次年度以降に留保し、状況を見て実施を判断する。</td></tr>
<tr><td>事 業 費</td><td colspan="3">0　円</td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td colspan="3">事務局</td></tr>
<tr><td>参加者数
（内訳）</td><td colspan="3"><table>
<tr><td>年　度</td><td>令和 6 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr>
<tr><td>一般参加者</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>スタッフ</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>－</td><td>－</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>住民の声（アンケートの結果等）</td><td colspan="3">該当なし</td></tr>
</table>

◆自己評価（評価：A 良い　B 普通　C 要改善）

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	—	—	特記事項なし
	②住民の参加	—	—	特記事項なし
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	—	—	特記事項なし
	④各種団体との連携	—	—	特記事項なし

評価項目		評価 本年度	評価 前年度	特記事項
広報	⑤事業の周知	—	—	特記事項なし
事業の効果	⑥課題解決への作用	—	—	特記事項なし
	⑦住民の満足度	—	—	特記事項なし
事業継続の必要性				㊒ ・ 無

良かった点・改善点等	＜良かった点や改善した点等＞		
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・済
	＜地域協議会からの意見（　　年　　月・　　）＞ ＜意見への対応＞	対応	未 ・済

（様式第６号）

事　業　別　収　支　計　算　書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

事　業　名	地域の安心安全の点検及び改善、子どもの見守り

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	基礎交付金	44,113	
2	繰越金	0	
3	雑収入	0	
4	合計（A）	44,113	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	0	
2	旅費	0	
3	需用費	4,318	・消耗品費　368 ・印刷製本費 （安全マップカラーA3×400 枚） 3,950
4	役務費	195	払込手数料
5	委託料	39,600	安全マップデータ作成、 カラー印刷 A1×12 枚　39,600
6	使用料及び賃借料	0	
7	合計（B）	44,113	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第６号）

事　業　別　収　支　計　算　書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

事　業　名	里山整備

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	基礎交付金	14,886	
2	繰越金	0	
3	雑収入	0	
4	合計（A）	14,886	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	0	
2	旅費	0	
3	需用費	13,116	・食糧費 （ボランティア用/会議用お茶） 7,718 ・燃料費 （混合油、チェーンソーオイル） 5,398
4	役務費	1,680	・保険料 （ボランティア保険@28×60 人）
5	委託料	0	
6	使用料及び賃借料	90	トラック使用料
7	合計（B）	14,886	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第６号）

事　業　別　収　支　計　算　書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

事　業　名	ふれあいルーム運営

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	基礎交付金	917,361	
2	繰越金	373,129	
3	雑収入（１）	1,371	預金利息
4	雑収入（２）	25,200	エアコン使用料
5	雑収入（３）	31,768	ルーム前自販機電気使用料
6	合計（A）	1,348,829	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	0	
2	旅費	0	
3	需用費	258,683	・光熱水費　212,392 ・消耗品費 （モップ/マットリース、衛生用品他）17,875 ・修繕費　25,516 ・食糧費 （ボランティア用お茶/弁当）2,900
4	役務費	0	
5	委託料	47,850	床クリーニング代
6	使用料及び賃借料	1,042,296	ルーム家賃@66,803×12か月 801,636 倉庫使用料@20,000×12か月 240,000 トラック使用料　660
7	合計（B）	1,348,829	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第６号）

事　業　別　収　支　計　算　書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

事　業　名	高齢者生活教室

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	基礎交付金	9,000	
2	繰越金	0	
3	雑収入	0	
4	合計（A）	9,000	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	0	
2	旅費	0	
3	需用費	0	
4	役務費	0	
5	委託料	0	
6	使用料及び賃借料	9,000	ジャンボタクシー代
7	合計（B）	9,000	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第６号）

事　業　別　収　支　計　算　書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

事　業　名	いきいきサロン

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	基礎交付金	118,693	
2	繰越金	0	
3	雑収入	93,100	カフェさくらんぼ参加料
4	宮崎市子どもの未来応援活動支援事業補助金	50,000	
5	合計（A）	261,793	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	0	
2	旅費	0	
3	需用費	206,773	・消耗品費 （広報用紙、衛生用品、容器他） 64,644 ・賄材料費 （そば/カレー材料 約2,100食分） 142,129
4	役務費	55,020	・保険料 （ボランティア保険@28×1,965人） 55,020
5	委託料	0	
6	使用料及び賃借料	0	
7	合計（B）	261,793	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第６号）

事　業　別　収　支　計　算　書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

事　業　名	サポートセンター

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	基礎交付金	44,601	
2	繰越金	0	
3	雑収入	0	
4	合計（A）	44,601	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	0	
2	旅費	0	
3	需用費	38,625	・消耗品費 （コピー用紙、インク、封筒他） 38,625
4	役務費	0	
5	委託料	0	
6	使用料及び賃借料	5,976	コピー機使用料
7	合計（B）	44,601	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第６号）

事　業　別　収　支　計　算　書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

事　業　名	スポレク生目台

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	基礎交付金	39,865	
2	繰越金	0	
3	雑収入	0	
4	合計（A）	39,865	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	0	
2	旅費	0	
3	需用費	33,005	・消耗品費 （イベント景品、広報用紙）27,817 ・食糧費 （スタッフ用弁当/お茶）　5,188
4	役務費	6,860	・保険料 （ボランティア保険@28×245 人） 6,860
5	委託料	0	
6	使用料及び賃借料	0	
7	合計（B）	39,865	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第６号）

事　業　別　収　支　計　算　書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

事　業　名	子どもまつり

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	基礎交付金	99,483	
2	繰越金	0	
3	雑収入	0	
4	合計（A）	99,483	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	0	
2	旅費	0	
3	需用費	88,713	・消耗品費 （広報用紙、灯篭用和紙、カレー容器他）　16,920 ・食糧費 （スタッフ用お茶）　13,535 ・賄材料費 （カレー材料、鮎 100 匹）58,258
4	役務費	10,110	・保険料 （ボランティア保険@28×70 人）　1,960 （傷害保険 259 人分）　8,150
5	委託料	0	
6	使用料及び賃借料	660	トラック使用料
7	合計（B）	99,483	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第６号）

事　業　別　収　支　計　算　書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

事　業　名	寺子屋

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	基礎交付金	114,006	
2	繰越金	0	
3	雑収入	0	
4	合計（A）	114,006	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	66,400	大学生報償費（@800×延 83 人）
2	旅費	0	
3	需用費	40,956	・消耗品費 （文具、コピー用紙他）　5,487 ・食糧費 （ボランティア用お茶約 500 人分） 35,469
4	役務費	6,650	・保険料 （ボランティア保険@350×19 人） 6,650
5	委託料	0	
6	使用料及び賃借料	0	
7	合計（B）	114,006	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第６号）

事　業　別　収　支　計　算　書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

事　業　名	子ども歳時記

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	基礎交付金	32,633	
2	繰越金	0	
3	雑収入	0	
4	合計（A）	32,633	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	0	
2	旅費	0	
3	需用費	24,483	・消耗品費 （イベント材料、広報紙他）13,850 ・賄材料費 （餅つき材料）　4,433 ・食糧費 （ボランティア食事代）　6,200
4	役務費	6,440	・保険料 （ボランティア保険@28×230 人） 6,440
5	委託料	0	
6	使用料及び賃借料	1,710	トラック使用料
7	合計（B）	32,633	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第６号）

事　業　別　収　支　計　算　書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

事　業　名	事務局運営

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	基礎交付金	262,878	
2	繰越金	0	
3	雑収入	0	
4	合計（A）	262,878	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	0	
2	旅費	0	
3	需用費	129,571	・消耗品費 （広報用紙、コピー用紙、インク、ファイル等）　116,892 ・食糧費 （会議用お茶）　12,679
4	役務費	78,898	・通信運搬費 （電話及びプロバイダー料）
5	委託料	0	
6	使用料及び賃借料	0	
7	手当	54,409	事務局職員時間外手当 （@1,000×54.409 時間）
8	合計（B）	262,878	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第６号）

事　業　別　収　支　計　算　書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

事　業　名	事業運営積立基金活用（リーダー研修）

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	0	
3	積立基金取崩金	229,102	
4	合計（A）	229,102	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	0	
2	旅費	212,850	宿泊及び交通費/飛行機、新幹線、バス、電車、タクシー　×5名分
3	需用費	16,252	・食糧費 （@700×2日×5名分）　7,000 ・消耗品費 訪問先3か所への土産　9,252
4	役務費	0	
5	委託料	0	
6	使用料及び賃借料	0	
7	合計（B）	229,102	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第６号）

事　業　別　収　支　計　算　書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

事　業　名	事業運営積立基金活用（パソコン購入）

（１）収入の部　　（単位：円）

番号	項　　目	金　　額	備　　考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	0	
3	積立基金取崩金	0	
4	合計（A）	0	

（２）支出の部

番号	科　　目	金　　額	内　　訳
1	報償費	0	
2	旅費	0	
3	需用費	0	
4	役務費	0	
5	委託料	0	
6	使用料及び賃借料	0	
7	合計（B）	0	

収支差額（A）－（B）	0

（様式第７号）

積　立　金　管　理　状　況　報　告　書

生目台地域自治区
生目台地域まちづくり推進委員会

積立金名称	事業運営積立基金

積立金の収支　　（単位:円）

番号	項　目	金　額	備　考
1	前年度までの積立額	1,127,250	
2	取崩額	540,198	視察研修のため
3	積立額	228	預金利息
		172,948	取崩金の残額を戻入
4	合　計	760,228	

（様式第９号）

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和　7年　5月　2日

宮崎市長　　清山　知憲　殿

主たる事務所の所在地　宮崎市生目台東４丁目６番地２
名　　称　生目台地域まちづくり推進委員会
代 表 者 の 氏 名　会長　富川　篤志
電　話　番　号　0985(71)0229

令和６年３月 27 日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において 561,629 円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

繰 越 金 内 訳

基礎交付金　　561,629 円
特例交付金　　0 円

添　付　書　類

令和６年度収支決算書

（様式第９号）

令和７年３月３１日

令和６年度　生目台地域まちづくり推進委員会への意見書［事業実施報告］

生目台地域自治区地域協議会
会長　荒　川　　良　二

令和６年度の生目台地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び仮収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていましたので、承認いたします。なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

１．総括

生目台地域自治区まちづくり構想の第二期計画に基づき、地域の課題に即した事業を展開していただきますようお願いいたします。

２．事業の推進体制

特になし

３．各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

部会・事業名	意　　見
健康増進部会 スポレク生目台事業	ノルディックウォーキング講習会の開催時期及び開催回数について検討いただき、参加者の増加を図り生目台地区の健康増進に一層励んで頂きたい。

４．その他